

# 情報通知

## 研究課題名：

脳卒中者の静止立位における姿勢制御特性の検討  
—空間的変数と時間的変数に着目したサブタイプ分類—

## 研究実施者：

平野 晋吾<sup>1)</sup>(責任者・理学療法士)、五十嵐 達也<sup>2)</sup>(理学療法士)、猪岡 弘行<sup>1)</sup>(理学療法士・科長)

- 1) 埼玉よりい病院 リハビリテーション科
- 2) 文京学院大学 保健医療技術学部 理学療法学科

## 研究の目的：

バランス機能は日常生活動作や生活の質へ影響を与え、脳卒中者では健常者と比較して有意に低下することが報告されています。また、バランス機能はたくさんの要素によって構成されており、多くのバランス機能の低下には多くの原因が関与している可能性が示唆されています。そのため、脳卒中者に対してバランス機能を適切に評価し、個別に介入することは重要です。

近年、脳卒中者のバランス機能に対するリハビリテーションとして Virtual Reality 技術やロボット技術を用いた介入が行われておりますが、効果の有無に関しては一定の見解を得られていません。その要因として、対象者の様々な特性によって適切な介入方法が異なる可能性があり、特定のバランス機能の特徴をもったグループを明確にすることで、リハビリテーションの介入方法の選択をより円滑化する可能性があります。しかし、脳卒中者の立位時におけるバランス機能の特性は明らかとなっていません。

そのため、本研究の目的は、脳卒中者の静的立位時におけるバランス機能の特性を明らかとし、個別かつ効果的なリハビリテーションの介入方法の選択をより円滑化するための一助となることです。

## 研究の対象：

2022年3月～2024年5月の間に埼玉よりい病院へ脳血管疾患にて入院し、通常診療時間内で重心動揺検査(機械の上に立ち、重心の軌跡を記録する検査)を実施した患者様とします。また、当院の診療録データベースの情報を見返して、情報を集めさせていただきます。対象となることを希望されない方は、最下部の連絡先までご相談ください。

## 収集する情報：

①年齢②性別③疾患名④疾患部位⑤発症日⑥重心動揺検査の結果となります。

## 情報の保管および破棄、情報公開の方法：

データを解析する段階では、個人を特定できる情報は含まれません。検査結果は Excel への出力および ID 番号を用いて対応表にて管理します。ファイルはパスワードでロックし、HDD は施錠可能な室内にて保管します。研究終了後(令和6年度3月)のデータの取り扱いは、デジタルデータがいかなるソフトウェアでも復元できないよう PC 上で完全に削除します。

**見込まれる医学上の貢献：**

脳卒中者の静的立位時におけるバランス機能の特性を明らかとすることで、個別のかつ効果的なリハビリテーションの介入方法の選択をより円滑化するための一助となる可能性があります。

**研究に関する問い合わせ先：**

住所：埼玉県大里郡寄居町大字用土 395 番地

電話番号：048-579-2788(内線 532)

担当者：埼玉よりい病院 リハビリテーション科 平野 晋吾